



令和6年

田原本町 二十歳のつどい

謝辞(一部抜粋)

代表
佐古 悠さん



私たちのために、このような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。

私たちは、唐古・鍵遺跡、寺川の満開の桜など、自然豊かなこの田原本町で生まれ育ち、仲間と共に、小中学校を通して、一生の思い出を育んでまいりました。

今までの人生を振り返ってみると、本当に数えきれないほど沢山の方々からの支えがありました。いつも隣で励ましてくれた友人、学校生活を支えてくださった先生方、優しく見守ってくださった地域の方々、いつも温かく迎えてくれた家族。沢山の人からの愛情と、温かいご指導のおかげで今の自分が形作られてきたのだと、この場所に立ち、改めて実感しております。

それぞれが歩む道は異なりますが、ここにいる一人一人が二十歳を迎え、自覚と責任を持ち、社会を構成する一員として、常に向上心を持って前進していきたいと思っております。



成人の日の1月8日、弥生の里ホールで「田原本町二十歳のつどい」が開催されました。今年の対象者は、平成15年4月2日から平成16年4月1日生まれで、319人。人生の大きな節目に立ち、感謝の思いと希望を胸に抱き、新たな一歩を踏み出しました。

式辞では、森町長から新たに二十歳を迎えた人たちに「誰もが様々なことに挑戦する権利があります。困難なことはたくさんあるかもしれませんが、それを、ワクワクすること、ドキドキすることととらえ、乗り越えていってください」とエールが送られ、植田議長も祝辞で今後の活躍を期待する言葉をかけられました。

それを受け、代表の佐古悠さんはこれまでの感謝の思いを述べ、今後の飛躍を誓いました。

二十歳のつどい実行委員会によるスライドショーでは、音楽に合わせて多くの懐かしい写真が映し出され、参加者は思い出に浸りました。その後、屋外で記念植樹と記念撮影が行われました。



町民憲章の斉唱



思い出のスライドショー



町の木(イチイガシ)の記念植樹